

はじめに

子どもたちは「もっと知りたい」、「もっとできるようになりたい」という意欲に満ちあふれています。大人は、そういう子どもたちの「学びの芽」を伸ばし、強く、丈夫に、そして、たくましく成長できるようにできる限りの支援や土壌づくりをしていきたいものです。

この冊子では、家庭学習をとおして、子どもたちを伸ばしていくためのヒントを提案しています。子どもがみずから目標を立て、疑問を持ちながら、知識を生かし、見通しを持って考えようとする「学ぶ力」をつけられることを期待しています。

ご存じですか…「苗半作の教育」

農業に「苗半作」の^{たとえ}喩があります。
「よい苗を育てる過程が最も重要で苗の出来、不出来によって、作柄の半分は決まる。」
幼少期の教育も同様で、
「子どもが必要としているときに、必要な教育やしつけをすることが大切で、時を逸すれば効果が無いだけでなく、後の努力では補いきれない。」ものがたくさんあります。

そこで…家庭を学びの環境に

○学習に集中できる環境をつくる 約束をつくる

- ① 学習の場所を決める。
- ② 学習の時間を決める。
- ③ ○○しながらの学習をしない。



○家庭学習時間のめやす

小学生：10分×学年
中学生：60分+（20分×学年）

○意欲を伸ばす

ほめる、認める、見守る

<親の心得>

赤子には肌を離すな

幼児には手を離すな

子どもには目を離すな

若者には心を離すな



山武市教育委員会は、幼少期からの教育を重視し、それを生きる力の基礎づくりととらえて、子どもたちの将来を実り多いものにして参ります。